

また、八月十日から十一日にかけて、熊本県内を記録的な大雨が襲い、各地で甚大な被害が発生しました。近隣の市町でも、河川の氾濫や道路の冠水、住宅への浸水などの被害が報道され、多くの方が被災されています。被保護者の皆様やご家族、ご親戚、お知り合いの方、勤務先など、被害にあられた方もいらっしゃるのではないかと思います。被災された皆様に心からお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈りします。

そんな中、子どもたちはそれによく楽しく充実した夏休みを過ごすことができたようです。久しぶりの教室では、夏休み中の出来事や思い出を話す様子も

三十九日間の長い夏休みも終わりました。連日暑い日が続き、国内では気温が四十度を超える記録的な暑さとなつた地域もありました。



# 学ぶ 伸びる 育つ

やせじく  
かじく  
たくまじく

第6号  
令和7年8月28日  
中央小学校  
文責 上原

見られましたし、夏祭りに行つたことやクワガタをたくさん捕まえたことなどを話してくれた子もいました。子どもたちにとつて、思い出に残る夏休みとなつたことでしょう。地域やご家庭での見守り、ありがとうございました。

八月二十七日（水）から、前期後半が始まりました。夏休み中に二人の新しいお友だちが増え、児童数五百三十三人で前期後半をスタートします。久しぶりに子どもたちの笑顔が校舎に戻つてきました。休み中静かだつた学校が一気に活気づきました。やはり、子どもたちがいてこそこの学校で



「夏休み明け集会」では、大雨の際に天草市の旅館に宿泊していったサッカークラブの中学生が、浸水の拡大を防ぐためにバケツリレーで水をかき出した記事を紹介し、困っている人を助けるヒーロー「アンパンマン」の話をしました。子どもたちにとってアンパン

マンは、悪者を倒し、困つて口一）を助ける正義の味方（ヒー）たり、傷ついたりすると力がでなくななる弱点があります。それでもアンパンマンは、「元気がぬれ出るよ」と、困つていてる人に、自分の顔をわけてあげます。「強いからヒー」ではない。「喜ばせるからヒー」です。喜ばせるからヒーだ」という作者の言葉からも、アンパンマンというキャラクターに込められた想いが伝わります。

「人を喜ばせるのがアンパンマンの心です。みんなも、優しさや思いやり、笑顔、元気、あいさつ、ふわふわ言葉など、人を喜ばせる心や力を持つています。前半、後半、学習したり、一緒に遊んだり、組んだりする中で、人を喜ばせる、アンパンマンの心を『中央つ子の心』とし、大切にして欲しい」と伝



お世話になりました

いいたします。前期後半も「友達大好き 勉強大好き 運動大好き 好きです中央！」を合言葉に、一日一日を大切にしながら、自分の好きなことや得意なこと、がんばりたいこと、ちょっと苦手なことにもどんどん挑戦して欲しいと思います。そして、一人一人のよさと笑顔が輝く中央小学校にていきたいと思います。

保護者・地域の皆様には、今後もご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



